

電子カルテシステムの各種障害発生についてのお詫び

当院では、昨年（平成 29 年）10 月に電子カルテシステムを日本アイ・ビー・エム社の製品（IBM-CIS）に変更しています。

その後、1 年以上が経過しているところですが、現在も以下のような事象の発生や不具合などがあり、患者様には様々な場面でご迷惑をおかけしておりますこととお詫びいたします。

- 電子カルテシステムが以下の時間に停止し、外来や救急、病棟の診療への影響や受付・会計の窓口業務などが一時中断する事象が発生しました。当日にご来院した患者様には大変ご迷惑をおかけいたしました。

11/14（水） 9：30～10：05

12/ 3（月） 19：27～20：15

- 外来診察室の入り口に、「診察中の方」と「まもなく診察の方」の番号を表示する案内表示板を設置しております。しかしながら「まもなく診察の方」と連動する電子カルテの機能に不具合があり、有効に活用できていない状況が続いています。

患者様には、いつ呼ばれるかがわからず大変不便な状況となっておりますこととお詫び申し上げます。

- 医師が電子カルテに診療の記録を入力する際に、日本語入力機能との連携の不具合が発生し、入力に時間がかかるなど、円滑な診療の支障になっています。

- 紹介元や紹介先の医療機関において、当院の診療情報が閲覧できる地域医療連携システムを整備しておりましたが、昨年の電子カルテシステム変更に伴い、機能が一時中断し、再開が遅れています。

- その他、電子カルテの操作中に異常終了するなどの不具合が発生しており、一部の診療等に支障が出ています。

現在、日本アイ・ビー・エム社に対し、早急な改善・対応を要望しておりますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。

平成 30 年 12 月 27 日
茨城県立中央病院長 吉川 裕之